

七色花

新所長着任

藤井です。本年4月に所長を拝命いたしました。当センターは今年9月で5年目を迎えます。諸先輩や関係者の皆様によって培われたノウハウを大事に育てながら、日本語学習支援をはじめ、様々な交流事業や相談事業などの支援事業の一層の充実に努め、中国帰国者の皆様の笑顔に出会えるように頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



異文化交流会 お花見



4月6日(火)広島市平和公園でお花見をしました。うららかな春の日差しの中、花を見ながら、各自が持ち寄ったお弁当を食べたり、おかずやおやつを交換したりしながら賑やかに昼食をとりました。昼食後、秧歌舞踊のグループが踊りを披露し始めると、平和公園を訪れていた観光客が周りに集まり、ちょっとした写真撮影会になりました。平和公園は日本人観光客だけでなく、外国人観光客も多いので、帰国者が踊る姿は世界中のカメラにおさまったことなのでしょう。秧歌舞踊のあとは、みんなで盆踊りやレクリエーションを楽しみ、楽しい春のひと時を過ごしました。

山口県企業見学・交流会

4月10日(土)山口県企業見学・交流会を開き、下関、宇部、防府、山口、岩国など五市の帰国者が参加しました。広島県廿日市市にある和菓子店「やまだ屋」では、焼き菓子の生産ラインを見学しながら、工場に入る前の消毒や、異物が混入した場合のチェック機能の説明などを受け、厳しい衛生管理について理解を深めました。見学後は「やまだ屋」の創業の地でもある宮島に渡り、ロープウェイで山頂に上り、瀬戸内海の多島美を堪能しました。同じ山口県に住んでいても普段は会うことのない人も多く、互いの情報交換に花が咲いていました。



徳島県・香川県社会見学交流会



4月17日(土)徳島、香川両県の帰国者合同の社会見学交流会が開かれ、徳島県から9人、香川県から12人の帰国者が参加し、岡山県倉敷市の美観地区と由加神社へ行きました。倉敷美観地区では柳の新芽が美しいお堀沿いの散策を楽しんだ後、着付け体験をし、思い思いの場所で写真を撮りました。香川県の金刀比羅宮とセットでお参りするとご利益があるという由加神社では、参道の長い階段に音を上げる1世もいましたが、みんなで声を掛け合い境内にたどり着きました。境内の広間では、みんなで助け合って大きな器で抹茶をいただく大茶盛体験をし、日本文化満喫の一日となりました。「来年も元気に再会できるよう足腰を鍛えましょうね」と約束して別れました。

異文化交流会 手芸

4月25日(日)と5月23日(日)、中国帰国者と廿日市オープン粘土クラブの皆さんの手芸交流会を開きました。4月25日は帰国者が中国結びを教え、5月23日はオープン粘土クラブの皆さんが中国結びとオープン粘土を組み合わせたアクセサリの作り方を教えました。手芸好きが集まって、和気あいあいとした雰囲気の中、とっても素敵な作品が出来ました。



岡山県社会見学交流会

5月14日(金)岡山県社会見学交流会を開きました。中国地方の世界遺産、宮島と原爆ドームを見学するバスツアーで59人が参加し、支援・相談員さんや岡山県中国帰国者友の会の方々にもボランティアで協力いただきました。宮島では美しい厳島神社をバックに写真撮影をしたり、鹿とたわむれたりする様子が見られました。平和公園では原爆資料館や原爆ドームを見学し、平和への思いを新たにしました。



投稿

2009年11月8日 姫路太陽公園で行われた研修会の際に、センターの職員が葬儀参列のマナーと日常生活の節約術について講演をしました。その感想を高見さんが詩にして送ってくれました。

岡山県帰国者研修会
2009年11月8日 姫路太陽公園にて

支援センターが指導に来た
研修内容はとても役立つ
葬儀参列の模範も見せてくれた
郷に従うことを忘れてはいけない

質素節約術に納得
人生には美徳が必要
センターの支援はありがたい
帰国者たちは忘れない

水の一滴、ちょっとの電力
少しの節約でも出費は減る
1年365日
小さな幸せも積もれば山となる

広島県の帰国者住野量則さんが清明節(お彼岸のような春のお墓参り)に寄せる思いを詠んでくれました。

桜祭

憂え悲しむ鐘の音 すすり泣きの如くため息の如く
無念なるかな死者の霊 無実をどこに訴えようか
それはただ戦乱のせい
再び清明節を迎え 朗らかな青空に
桜の花がほころび始める
死者の霊を迎え とともに美しい花を觀賞する
芳しいかな花の香り
死者の霊は悲しみを忘れ 共に集い良き日を過ごす
深い眠りから覚め この世で一緒に笑えばいい
原爆の音が遠ざかり 戦争も終わった
殺戮は二度とない 火薬のにおいも消えた
穏やかで平和な今日のために
雪のように花が舞い散る 死者の霊を慰め
死者の霊と伴に歌い笑う 魂は自然に帰る



広島県の帰国者、楊殿学さんからお手紙をいただきました。

3月28日、日曜日、初春、草木が芽吹くこの時期、広島市の中国帰国者同心会の会員は日本語学習のストレスを発散しました！帰国者たちはうきうき、わくわく、この日は中区太田川の岸辺で花見をしたのです。歌いながら舞う中国の伝統秧歌。日本の名曲さくら。日曜日の1日を満喫しました。

6月・7月の予定

6月7日 歯科衛生相談説明会〔広島市〕

7月9日 中国・四国ブロック

6月13日 愛媛県ボランティア研修会〔松山市〕

支援機関連絡会〔広島市〕

6月25日 高知地域帰国者教室〔高知市〕

7月25日 歯科衛生相談説明会〔福山市〕

投稿募集

みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。あなたも「七色花」に記事を書いてみませんか？原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。

みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

今年の5月1日~10月31日、中国で上海国際博覧会が開かれています。参加する国や国際機関は万博史上最も多い246に至っています。人気パビリオンも勿論たくさんあります。約160年の国際博覧会の歴史の中で、発展途上国での開催は初めてだそうです。私は頑張っている中国に誇りを感じています。みなさんは既に上海万博を見に行きましたか。時間の余裕があれば、私も見に行きたいな~と思っています♪(金山)

第18号

平成 22 年 6 月 1 日 发行
(双月发行/年 6 回)

七色花

【发行者】

中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会
〒732-0816 广岛市南区比治山本町 12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

新所长上任

大家好！我是藤井。从今年 4 月起开始担任中心所长。到了今年 9 月份，中心的成立将迎来第 5 个年头。承蒙各位前辈以及相关人士的鼎力支持，无论是日语学习还是各种的交流以及咨询业务等，中心工作得以顺利的展开。为了使支援工作更上一层楼，让各位归国者有更满意的的笑容，为此会不懈的努力！今后请多多关照！



异文化交流会 赏樱花



4 月 6 日(周二)在广岛市和平公园开了赏樱会。春和日暖，花枝绽放，樱树下大家一起享用各自带来的午饭，席间互换着自家的美食，有说有笑好不热闹。午饭后，秧歌队载歌载舞，召集来了不少来访和平公园的游客，其间还有游客提出希望能一起合影留念。平时参观和平公园的游客不仅仅有日本人，还有很多外国游客，相信这一次归国者的舞姿一定留在了来自世界各地的相机内。扭完秧歌后，大家又一起尽兴地跳了孟兰盆舞，做了动脑筋体操，在这春意盎然之际，一起欢度过了美好的时光。

山口县企业参观学习·交流会

4 月 10 日(周六)举办了山口县归国者的企业参观学习·交流会，本次活动有下关、宇部、防府、山口、岩国五处归国者来参加。这次和大家参观学习了广岛县廿日市市的和式点心工场「山田屋」，进入工场之前首先是消毒，之后在观摩点心生产流水线时，由工场管理人员向大家介绍了如何检查异物混入的装置，借机加深了大家对严格的食品卫生管理的认识。参观结束后渡船来到「山田屋」创业地的宫岛，乘坐缆车一登山顶，远眺了濑户内海多岛的美景。虽然同住一县，但平时难得有见面的机会，通过这次活动使大家得以了互相交流。



德岛县·香川县社会观摩交流会



4 月 17 日(周六)举办了德岛和香川两地归国者交流会，与会者中，德岛县归国者 9 名，香川县归国者 12 名。这次和大家同去了冈山县仓敷市的美观地区以及由加神社。来到仓敷美观地区时，正值柳叶发新芽之际，不仅欣赏了运河两岸的美景，还体验了试穿和服，之间大家忙着四处合影留念。由加神社据说与香川县的金刀比罗宫一起参拜，会好事成双。到了神社前，不少 1 代归国者都感叹参拜道路过长，最终还是齐心协力进入了神社境内。在神社的茶室内，通过互相帮助，用巨大的茶碗体验了日本的抹茶，充分感受了日本的传统文化。分别之际，「希望大家日常多多活动筋骨，这样才能健健康康的参加明年的活动！」这样与大家定好了下次的约定。

异文化交流会 手工

4 月 25 日(周日)和 5 月 23 日(周日)，分两次在中心举办了归国者和廿日市粘土烘烤俱乐部之间的手工交流会。4 月 25 日的活动是由归国者负责教大家做中国结，在 5 月 23 日则是由俱乐部成员教归国者做粘土首饰，并将粘土作品与中国结加以结合。因为有着喜欢做手工艺品这一共同爱好，所以一直是在一片融洽的氛围中进行了整个活动，最终完成了各式精致的作品。



冈山县社会观摩交流会

5 月 14 日(周日)举办了冈山县归国者社会观摩交流会。带大家参观了中国地区著名的世界遗产宫岛和原爆遗址，本次活动共计 59 位参加者。在宫岛，大家以庄严华丽的严岛神社为背景摄影留念。有的归国者还借机和岛上的小鹿玩耍。在和平公园大家参观了原爆资料馆和原爆遗址，相信通过这次活动使大家对和平这一概念又有了新的认识。



投稿

2009 年 11 月 8 日 在姬路太阳公园举办的冈山县归国者研修会上，由中心工作人员讲解了有关葬仪礼节和日常生活节约小窍门方面的知识。高见女士对此有感而发赋诗一首，投稿给中心。

冈山县归国者研修会
2009 年 11 月 8 日 于姬路太阳公园

支援中心来指导，
研修内容实在好。
葬仪礼节做示范，
入乡归属忘不了。

讲勤俭又懂节约，
人生在世是美德。
多谢中心来帮助，
归国朋友记心窝。

一滴水呀一度电，
精打细算能省钱。
一年三百六十五，
积少成多福满园。

在广岛市和平公园开赏樱会时值清明节，面对周围原爆纪念设施，广岛归国者住野量则先生触景生情，为追悼原爆死难者特此投稿。

樱花祭

钟鸣忧怨 如泣如诉
屈死亡灵 何处鸣冤
只怨战乱 又是一个清明 日朗天兰
樱花开绽 迎亡灵回还 同赏花艳
花开芬芳 为亡灵释颜 共聚良欢
原爆声远 已停战争 再无杀戮 尽熄硝烟
为祥和安乐于今天
落花飘雪 慰藉亡灵
笑语欢歌伴亡灵 魂归自然

下面是广岛归国者杨殿学先生的来信



3 月 28 日(周日)，中国归国者同心会，全体学员为了消解学习日语的疲惫、放松心情，在广岛市中区太田川河畔举办了赏樱会。在这初春到来、欣欣向荣之际，每个人都精神愉快、兴高采烈。大家载歌载舞、扭起了中国的传统舞蹈「大秧歌」，还同唱了日本歌谣「さくら」，完满的度过了一个愉快的周日。

6月·7月预定

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 6 月 7 日 牙齿卫生保健说明会〔广岛市〕 | 7 月 9 日 中国·四国地区 |
| 6 月 13 日 爱媛县志愿者研修会〔松山市〕 | 支援机关联络会〔广岛市〕 |
| 6 月 25 日 高知地区归国者教室〔高知市〕 | 7 月 25 日 牙齿卫生保健说明会〔福山市〕 |

征集投稿

向大家征集稿件。内容不限，可以是日常生活琐事，也可以是追忆往昔，或者是介绍专项所长。您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗？原稿的字数限 400 字以内，投稿方式可以是直接送到中心，或者是邮寄、传真均可。

期盼大家积极踊跃的投稿！

编辑后记

今年的 5 月 1 日~10 月 31 日期间，在中国开设上海世博会。本次，参展国家和国际机构为史上最多，共计 246 所。会场中设有不少人气展厅。在 160 年的世界博览会史上，由发展中国家举办世博会还是首次。为此，对不断努力上游的中国，我深感自豪。不知大家是否已经参观了世博会？如果时间允许，我也希望能够一饱眼福！
(金山)